

病害虫防除技術情報第11号

令和3年 7月29日
三重県病害虫防除所

**トビイロウンカの飛来が続いています。
被害の発生に注意し、早期の対策に努めましょう。**

1. 対象作物： イネ（早期、普通期）
2. 対象病害虫名： トビイロウンカ
3. 発生状況
 - (1) 7月第1～3半旬の予察灯の誘殺数は、松阪市で17頭（過去10年平均は0.1頭、100W水銀灯）、伊賀市で7頭（同0頭、以下60W白熱灯）、紀北町で17頭（同0頭）、御浜町で2頭（同0.4頭）と平年より多い状況です。
 - (2) 1か月予報（名古屋地方気象台7月22日発表）によると、気温は平年より高いことから、トビイロウンカの活動に好適です。
4. 防除対策
 - (1) これから出穂期を迎える普通期水稻では、カメムシ類防除を兼ねた散布を必ず行いましょう。
 - (2) 株元でトビイロウンカが1株に1頭以上確認される場合、坪枯れもしくは坪状の黄化症状が認められる場合には、防除対策が必要です。
 - (3) 薬剤による防除を行う場合は、収穫直前にあたるため周辺の圃場への飛散がないように、また、収穫前日数に留意するなど安全使用基準を遵守してください。
 - (4) 本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。
 - (5) 収穫時期が近づいている場合は、適期の範囲内で早めに収穫し、刈り遅れによる被害拡大を防ぎましょう。

5. その他

感受性低下が報告されている下表の剤は使用を避けるようにしてください。薬剤は三重県農薬情報システム (<https://www.nouyaku sys.com/noyaku/user/top/mie>) で検索することができます。

表 ウンカ類において感受性低下が報告されている農薬成分

虫種	農薬成分名
トビロウンカ	イミダクロプリド、チアメトキサム、クロチアニジン、ブプロフェジン
セジロウンカ	フィプロニル

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。